

びろっぱ

Vol. 455 2024. 6

近森病院附属看護学校 入学式

表紙の写真



能登半島地震 JRAT活動報告

日本専門医機構 内科専門研修プログラム修了

数字でみる近森会グループ



2024年 能登半島地震 JRAT活動報告

2024年3月16~20日・23~27日

近森リハビリテーション病院 青山 圭
リハビリテーション科 科長 あおやま けい



能登半島地震における被災地の医療支援のため、日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT) (※1)より要請があり、当院からは、筆者を含む医師3名、理学療法士2名が派遣されました。

リハビリテーション医学の視点からの支援

災害リハビリテーションは、大規模災害が発生した時に生活不活発病(※2)や災害関連死を防ぐために、リハビリテーション医学の視点から関連専門職が組織的に支援を展開し、被災者や要配慮者などの早期自立生活の再建・復興を目指す活動です。

珠洲市 ~高齢化率50%を超えている地域での活動~

今回、我々は能登北部の先端に位置する珠洲市での活動を行いました。珠洲市は地震の被害も大きく、また高齢化率も50%を超えている地域でした。

活動内容としては、

- ① 避難所での不動を防ぐために、「活動の維持」(シルバーリハビリ体操啓蒙など)
- ② 避難所などでのバリア解消や、歩行補助具の検討を含めた「環境の調整」
- ③ 地域の医療・福祉・リハビリなど「資源の確認と引き継ぎ」

を行いました。

災害発生から2ヶ月が経過していましたが、水道の復旧もままならない地域が多く、仮設住宅への移行も遅れている状態でした。

現地のスタッフも相当疲弊されていましたが、自らも被災している職員の方々に限られた人的資源の中で精一杯工夫して業務に取り組んでおられ、本当に頭が下がりました。一方で様々な団体が活動されており、うまく連携がとれてなかったり、JRAT組織の中でも運用が統一できていないことがあったりと、課題も多いと感じました。

南海トラフ大地震に備えて

今後南海トラフ大地震の発生が懸念されており、甚大な被害や混乱が予想されますが、平時からできること、発生した際に自身ができる役割はなにか、今回の経験を少しでも生かして活動していきたいです。



▲ 避難所でのシルバーリハビリ体操実施の様子



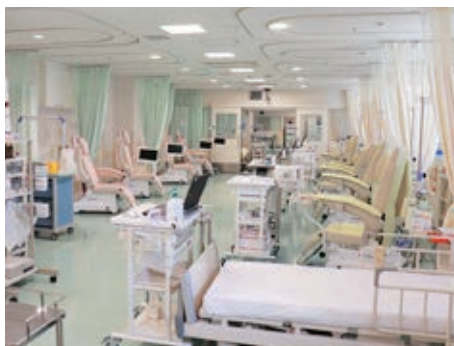
▲ 他県JRATからの引き継ぎ風景

※1:JRAT…Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team
※2:生活不活発病…「動かない」(生活が不活発な)状態が続くことにより、心身の機能が低下して「動けなくなる」こと。

近森病院 化学療法センター

新しいリクライニング チェアー 到着! 2024年3月16日

ベッド10床と既存のチェアー1床に、チェアーが9床加わり、合計20床となりました。より多くの患者さんに快適にご利用いただけるよう、環境を整えています。



講演会

近森病院 第174回 地域医療講演会 (2024年4月22日)

『がん治療および難治性疾患の漢方サポート』

東北大学大学院 医学系研究科 漢方・統合医療学共同研究講座 特命教授 高山 真先生



がん患者さんのQOL向上を漢方の力で支えたい



近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさば こういち

4月22日(月)に東北大学大学院 特命教授 高山真先生をお招きして、がん診療における漢方薬の役割に関して講演をしていただきました。高山先生は、漢方薬でがん患者さんがスポーツや旅行ができるような元気で患者さんの延命に貢献しておられました。講演はがん診療に用いる基本的な漢方薬の解説と、具体的な症例を交えての実践的なお話の二部構成で、詳細なデータを示し、わかりやすくがん診療における漢方薬の役割を教えてくださいました。漢方薬で胃腸を丈夫にする大切さ、気持ちを前向きにする大切さ、体を元気に保つ大切さを学びました。私も漢方薬で患者さんを美味しく食事ができ、いつもニコニコ楽しい気分で、元気で動けるようにしたいです。

◀ 前列左端が筆者、
後列左より、ご聴講でおいでくださった高知医療センター 根来裕二先生、光岡妙子先生

学会発表

マイアミで開催された国際学会で、発表してきました!

2024年4月26~28日 / アメリカ・フロリダ州マイアミ

近森病院 整形外科 部長
井ノ口 崇 いのくち たかし

学会名 | ISASS - The International Society for the Advancement of Spine Surgery-

演題 | Clinical efficacy of full-endoscopic ventral facetectomy via transforaminal approach under local anesthesia



あまり緊張せず発表することができました。

日本人2名の狭き門をくぐり抜け

ISASSは、内視鏡手術、ロボット手術、バーチャルリアリティ手術といった最新の脊椎手術、技術の粋があつまる国際学会です。口演で採択された日本人は、私を含めて2名というなかなか狭き門でした。

腰部脊柱管狭窄症に対する局所麻酔内視鏡手術として、お師匠である徳島大学の西良教授が開発した術式の治療成績を発表させていただきました。口演の最初に、近森病院の名前もしっかりと宣伝してきました。

マイアミビーチと円安と

4月のマイアミは温暖な気候で、半袖で過ごしやすい良い季節でした。土地柄、ヒスパニックが多く、歩いていると英語とスペイン語が飛び交う、なんとも異国情緒に富んだ街並みでした。タイトな日程のた

め短時間ではありましたが、マイアミビーチから大西洋を望む時間もとれました。

そして驚いたことは、なんと言っても物価が異常に高いこと。小腹が空いて、ふらりと入ったファストフード店の、チーズバーガーとポテトとドリンクで26ドル、4,000円以上! 総じて、体感した物価は、日本の3倍以上でしょう。

モチベーションUP!
感謝を込めて

なにはともあれ、無事国際学会での発表を務め、さらにモチベーションを上げることができました。快く送りだしてくださった西井先生、同僚の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



日本からの参加メンバー: 左から杉浦先生(シアトル留学中)、筆者、西良教授(術式の考案者)、水谷先生(旭川医大)、添田先生(聖路加国際病院から国内留学中)

日本専門医機構 内科専門研修プログラム修了

ひとまず無事に 終えて

近森病院 循環器内科
中山 拓紀 なかやま ひろき



ホッとしています。近森での2年はあつという間でしたが充実していました。院外研修は近森と違った2病院(国立循環器病研究センター・聖路加国際病院)を経験しました。貴重な経験ができたと思いますので、少しでも近森に還元できたら、と思っています。

専門研修プログラムを 終えて

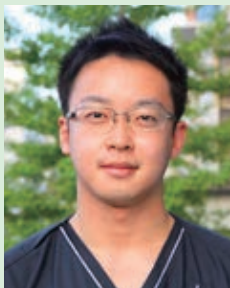
近森病院 循環器内科
忽滑谷 尚仁 ぬかりや まさと



慣れない環境での後期研修開始で、循環器専攻のため56症例群を網羅することが難しかったのですが、一時的に他科ローテーションをさせていただき、多くの先生方のサポートを受け、なんとか全症例を経験することができました。内科専門医試験合格を目指し、日々の診療に精進して参ります。

5年間、大変お世話になりました

聖路加国際病院
(~3/31
近森病院
呼吸器内科)
三枝 寛理 さえぐさ ひろよし



基幹病院である近森病院ではcommon diseaseを数多く経験でき、半年間ずつの福島県立医科大学と聖路加国際病院の研修では、近森病院では経験できない症例を経験できました。初期研修と併せて5年間、大変お世話になりました。

充実した内科後期研修

千葉大学医学部
附属病院
(~3/31
近森病院
総合内科)
岸本 浩一郎 きしもと こういちろう



この度、無事内科専門研修を修了することができました。近森病院では総合内科に所属しながら各科ローテーションをさせていただき、数多くの症例を経験することができました。これからも近森病院で学んだことを糧に、内科医として精進していきたいと思っています。

感謝

千葉大学医学部附属病院
(~3/31 近森病院 総合内科)
前田 理沙 まえだ りさ



私の年は5人もの同期が近森の内科プログラムで研修を行いました。研修の悩みや、珍しい症例などを話し合いながら過ごした3年は非常に実りのあるもので、医師人生の宝物になったと思います。

災害食試食会

2024年4月23日

臨床栄養部防災班

食堂でランチタイムに災害食を職員で試食しました。臨床栄養部では、万が一の災害時にも患者さん・職員の食事を守れるよう取り組んでいます。

職員の皆さんには、ロッカー等にも非常食を準備しておくこともお勧めしています。普段からの、無理のない範囲で一緒にレッツ防災を!!



研修 修了報告

県外ドクター

循環器救急、その最前線で

研修期間 / 2023年4月1日～2024年3月31日

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 齋藤 充宏 先生
さいとう あつひろ



近森病院に来た理由

昨年度1年間、循環器内科で勤務いたしました齋藤充宏と申します。この1年は本当に大変で、且つやりがいのある1年間でした。まず、なぜ生まれも育ちも高知じゃない僕が近森病院で働くようになったのか、その経緯から説明したいと思います。

私が所属している大橋病院は東京の中でも都心部にあり、歩けばすぐ他の病院が見えるぐらい病院が密集している地域です。都心で病院に困るということはまずなく、高度医療センターも複数あるため心停止後の患者さんなどはほとんど搬送されてきません。循環器内科医として、これでは経験が足らなすぎる!という思いと、私の先輩である松田剛先生の紹介もあって、近森病院に1年間国内留学という形で勤務することとなりました。

激動の1年 ～心停止の対応も日常茶飯事～

覚悟はしていたことでしたが、近森病院は体と頭をともに酷使するハードな環境でした。心停止の対応など日常茶飯事で、補助循環を複数人同時に管理することも多々あり、力不足を痛感する日々でした。そんな中でもくじけずやっていけたのは、循環器内科の先輩後輩の医師をはじめ、コメディカルスタッフたちの協力あってこそでした。スタッフたちには飲みでもお世話になり、仕事終わりの一杯がこんなにおいしく感じたのは、近森が初めてです笑。

達成感とともに

勤務当初は1年間やっていけるか不安でしたが、今では「もう少しいればよかったなあ」と後ろ髪を引かれる思いです、それほど充実した研修でした。近森に帰ってきたら、また温かく迎えてくれると嬉しいです、1年間本当にありがとうございました。



2月1日、不整脈センターでの歓迎会。右より、新里医師、三戸センター長、齋藤医師、山下医師、後列桐原医師。



3月11日、内科送別会にて

資格取得

植込み型心臓不整脈デバイス認定士

ペースメーカーのことならお任せ!

臨床検査部 臨床検査技師 坂本 早樹 さかもと さき

臨床工学部 CS 臨床工学技士 田内 絵美菜 たのうち えみな

2019年から日本不整脈心電学会の植込み型心臓不整脈デバイス認定士制度が始まり、今年、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名が合格し、昨年合格した臨床工学部の西村有司技士あわせて、計3名のデバイス認定士が在籍しています。

植込み型心臓不整脈デバイス(ペースメーカー・ICD等)とは、心臓の電気興奮の不調を治すために体内に植込む器械のことをいい、デバイス認定士はその器械の管理を専門とする認定資格です。今回の資格取得のきっかけは、刺激伝導系ペーシングや多機能デバイス、またデバイス外来が始まったことで、より専門性の高い知識を必要としたからです。

デバイス患者さんの生活の質の向上、疑問や不安を少しでも取り除けるよう日々勉強を続けていきたいです。

ペースメーカーに関する相談は不整脈チームへ!!



デバイス
認定士
3名に



左から、田内技士、西村技士、坂本技師

2023年度 数字でみる近森会グループ

2023年4月～2024年3月

※「近森病院」の実績は精神科をのぞく

近森会グループ 職員数 (2024年4月1日現在) 1,956人 委託を含む実質的な職員規模は 2,323人 となり、多くのスタッフでチーム医療を展開し、日々患者さんをサポートしています。	近森病院 救急車搬入件数 7,077件 ・院内救急車出動件数 102件 ・ドクターカー 126件 ・ドクターヘリ受入件数 89件	近森病院 延べ入院患者数 137,116人 急性期病院として一般病床 429床 (令和6年1月～)を確保。入院中の患者さんは、1日当たり平均 375人 。	近森病院 退院患者数 11,118人 1年間に退院された患者数です。平均在院日数は 12.10日 です。												
近森病院 手術件数 7,024件 急性期医療に取り組む近森病院では、一刻を争う患者さんが多く、日曜祝日関係なく、1日当たり平均 19件 の手術数です。	近森病院 延べ外来患者数 138,756人 地域医療支援病院として地域に密着した医療を展開しています。外来患者さんは1日当たり平均 379人 (土日祝日を含む)です。	近森病院 精神科 総合心療センター ・年間病床利用率 78.4% ・1日平均外来患者数 102.13人 ・デイケア入退所者数(人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>パティオ</th> <th>メンタル</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>退所者</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		パティオ	メンタル	合計	入所者	28	19	47	退所者	27	20	47	近森リハビリテーション病院 在宅復帰率 89.5% ・重症患者割合(日常生活機能評価10点以上) 40.4% ・重症患者改善率(日常生活機能評価)点数4点以上改善 62.5%
	パティオ	メンタル	合計												
入所者	28	19	47												
退所者	27	20	47												
近森オルソリハビリテーション病院 地域包括ケア在宅復帰率 ・3階病棟 97.1% ・4階病棟 100.0% ・病床稼働率 89.5% ・延外来患者数 11,257人	社会福祉法人ファミユ高知 ご利用者の補装具チェック延べ116名 ・補装具作成支援 17名 ・判定医療機関との連携 44回 2023年にブレースチェック委員会を発足し、補装具のセルフチェックや、適切な使用に貢献しました。	在宅支援部門 延べ件数/利用者実人数 ・訪問看護 550件 / 96人 ・訪問看護(精神) 403件 / 145人 ・訪問リハ 398件 / 65人 ※データは月間平均数値	近森会グループ看護部 ・全体離職率 10.9% (昨年比 -1.0%) ・新卒新人離職率 18.2% (昨年比 +12.5%) ・平均年齢 36.2歳 (昨年比 +0.5歳)												



人事考課研修 開催しました

評価者研修基礎編：4月18日・被評価者研修：4月30日
 講師：株式会社エイトドア 下田静香先生

新入職員や初任評価者を対象に、人事考課の目的・活用方法などを学びました。

管理部の女性の制服が変わりました

2024年5月～

今まで事務と秘書で違う制服でしたが、今回から統一。今回初めてパンツスタイルが登場し、上衣はブラウスとオーバーブラウス、下衣はスカートとパンツから自由に組み合わせられます。





近森病院附属看護学校
2024年度・第10期生

入学式

2024年4月10日



10回目の入学式

近森病院附属看護学校 専任教員
田原 佳奈 たはら かな



近森ブルーを象徴するような爽やかな青空が広がる4月10日、わが校に第10期生を迎えました。開校後もう10年目を迎えたのかと重ねてきた歴史を感じつつも、これから看護の道を歩んでいこうと夢と希望に満ち溢れたキラキラした顔を見ると、何度見ても自分も初心にかえるような気持ちになります。

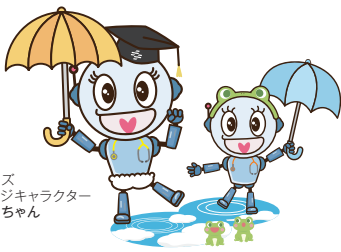


今年度の入学生は44名です。山崎学校長、川井近森病院長、岡本統括看護部長、高知県看護協会会長の藤原様からお言葉を頂きました。学生は入学した時点で皆、医療専門職を目指す近森会グループの一員であり、各々がその自覚と責任を持つことの重要性を改めて感じるような、それぞれのお言葉でした。「互いを尊重し合いながら仕事をしている現場をみて看護の道を選んだ」という新入生代表の言葉があり、これから学生たちが色々な現場、経験を通して人と人との関わりの中で自己研鑽、切磋琢磨しながら成長していったほしいと思いました。



ヘリポートから行われたバルーンリリースでは、様々な色のバルーンを空に放ちました。少し遅れて昇っていく数個のバルーンもありましたが、最終的には同じ方向に向かって昇り続けて行きました。それぞれのカラー、ペースは違えど、同じ目標に向かって進み、やがて自立していく、そんな学生の未来の姿を想像しながら、小さくなっていく個々のバルーンを眺めていました。





シリーズ
イメージキャラクター
モリンちゃん

すまいる♥ナース通信 # 認定看護師

安心・安全・確実に

近森病院 化学療法センター 主任
がん薬物療法看護認定看護師

塚本 綾 つかもと あや



がんの治療は、手術療法、放射線療法、薬物療法の三本柱で行います。抗がん剤治療と聞くと、吐き気や脱毛など副作用の心配をされると思います。確かに副作用を許容しながら治療を続けていく必要があり、それだけでなく病気のことや再発の心配、家族、仕事の事などさまざまな不安を抱えながら治療を受けられる方も多いです。

がん薬物治療の目的は下の表の通りで、私たちががん薬物治療に関わるスタッフは、確実な投与管理と患者さん自身が副作用のコントロールができ、安心・安全な治療が続けられるようセルフケア支援を行います。また、薬剤師やがんサポートチームと協働し、患者さんが副作用で治療を断念する事がないよう、そして自分らしい生活が続けられるために「患者さんの力」を発揮できるよう全力で支えます。

がん薬物療法の目的

- ① 治癒
- ② 局所治療前の腫瘍縮小目的(術前補助化学療法)
- ③ 局所治療後の再発予防目的(補助化学療法)
- ④ 延命目的(生存期間の延長)
- ⑤ 症状緩和・QOLの向上

一緒にがん薬物治療に関わる看護部スタッフと ▶



近森病院 臨床栄養部

近森病院
臨床栄養部
管理栄養士
田部 大樹
たべ だいき



がん治療と亜鉛

今月はミネラルの中でもがん治療中に大切な亜鉛です。亜鉛は、味覚に関わる舌の味蕾合成に必要なミネラルです。

がん治療中は抗がん剤治療や放射線療法、食事摂取量の低下などから亜鉛不足に陥りやすいです。抗がん剤が投与された患者さんでは、血中の亜鉛濃度が低下すると塩味を感じにくくなることが報告されています。しかし、頭頸部がんを対象とした報告では、亜鉛の補給で味覚異常の発生を抑制する傾向にありました。味覚は食事摂取量の維持に重要ですので、亜鉛は食事から積極的に補給したいミネラルです。

亜鉛は1日に8~11mg程度の摂取が推奨されています。亜鉛を含む食べ物といえば牡蠣で、1個あたり1.4mg程度含まれています。また、この連載でよく登場するうなぎは1切れ2.7mg程度です。ですが、これらの食品は日常的に摂取しにくい方も多いと思います。その場合は、いりごま大さじ1杯で0.5mg、ココア1杯で0.4mgほど摂取できるので、これらの食品や飲み物を普段の食事にちよい足しするのも良いと思われます。

お勧め! 亜鉛のちよい足し



+いりごま大さじ1杯で0.5mg



+ココア1杯で0.4mg

手足のスタンプで作ったよ!

保育室
「そると」の
応援ポスター



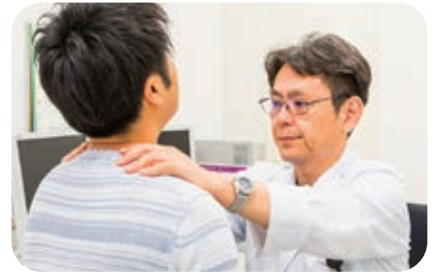
熱烈応援 昇格人事

糖尿病・内分泌内科 部長 専任となって

近森病院
糖尿病・内分泌内科 部長
浅羽 宏一 あさば こういち

昨年度まで総合内科と糖尿病・内分泌内科を兼務しておりましたが、今年度からは糖尿病・内分泌内科専任で患者さんのために診療させていただきます。宜しくお願いします。

近森病院は高知県の救急医療、高度先進医療、癌診療を担っています。入院患者さんの中には糖尿病を持つ方も多くおられます。心筋梗塞、脳梗塞、肺炎、癌などで入院された糖尿病患者さんの血糖コントロールを良くすると、その病気の治りも良くなり早期に退院できることが知られています。私は多くの糖尿病チーム医療のスタッフ（看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士など）とともに患者さんの病気が早く良くなって家に帰れるように精進したいと思います。



- 【出身大学】高知医科大学 1992年卒業、同大学院 1998年修了
- 【専門分野】総合診療、糖尿病、内分泌代謝内科、内科全般、医学教育
- 【認定資格】
 - ・日本内科学会・総合内科専門医・指導医
 - ・日本内科学会・認定内科医
 - ・日本糖尿病学会・専門医
 - ・日本内分泌学会・内分泌代謝科(内科)専門医
 - ・高知大学非常勤講師・臨床教授
 - ・岡山大学非常勤講師・臨床教授
 - ・愛媛大学非常勤講師

常に自分をアップデートして

近森病院 総合内科 部長 中山 修一
なかやま しゅういち

この度総合内科部長を拝命いたしました、中山修一です。高知県生まれ高知県育ちで高知県から一歩も出たことのない人間です。

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。ああ無常。時の流れがますます加速する昨今、医療業界も例外ではなく、変化し続けることが求められています。私もそれに遅れることなく、常に自分をアップデートし続けるよう努力して参ります。

一方変わらず持ち続けるべきものもあります。患者さんを迷子にしない医療を行うという思い。総合診療科時代から歴代診療科長が持ち続けてきたこの理念を、今後も大切にしていける所存です。

外来で病棟で、見かけたら気軽にお声がけください。何かのお役に立てれば幸いです。



- 【出身大学】高知医科大学 2003年卒業、同大学院 2011年修了
- 【専門分野】内分泌・代謝、リウマチ・膠原病、糖尿病
- 【認定資格】
 - ・日本内科学会・総合内科専門医
 - ・日本内科学会・認定内科医
 - ・日本内分泌学会・内分泌代謝科(内科)専門医・指導医
 - ・日本糖尿病学会・糖尿病専門医
 - ・日本リウマチ学会・リウマチ専門医・指導医
 - ・医学博士(高知大学-2011年)
 - ・JMECCインストラクター
 - ・高知大学医学部臨床准教授

いつか「と金」部長になれるように

近森病院 病理診断科 部長 中嶋 絢子 なかしま じゅんこ

全医師の中で1%未満しかいない病理医。高知県内では20人程度の病理医がおり、大学病院以外の総合病院では3人以下の病理医で業務を行っています。近森病院では常勤は2人体制です。

最近では女性病理医が全国的に増加傾向であり、他の科に比べると教授や部長などの管理職に女性が多いのが病理診断科の特徴でもあります。

ジェンダーフリーの時代にあっても部長らしさとはほど遠い私ですが、機動性や即応性に特化した「歩兵」部長として近森病院の診療の下支えとなるよう、引き続き頑張ります！



- 【出身大学】高知大学 2009年卒業
- 【専門分野】病理組織診断全般、病理解剖
- 【認定資格】
 - ・日本病理学会・病理専門医・指導医
 - ・日本臨床細胞学会・細胞診専門医
 - ・死体解剖資格

地元に戻って1年、ふと…

近森病院 腎臓内科・人工透析内科 科長 **宇都宮 慧**
うつのみや けい

小さい頃から身近であった近森病院に受け入れていただけることとなり、吉村部長や皆様に助けていただきながら、あっという間に1年が過ぎました。

自分自身は近森病院に受診した記憶はありませんでしたが、先日検診の結果を確認するために初めて自分のカルテを見ました。検診結果にひと安心(笑)した後、ふと1990年の頭部打撲の病歴を見つけました。おそらく5歳の自分がどこかから落ち、心配となった両親が救急外来に連れてきてくれたのだと思います。不安で一杯だった両親が、近森の先生に大丈夫と言ってもらい、安心して家に帰る姿が思い浮かびました。

幼すぎて記憶にはないですが、いつか自分も、誰かにとってのあの先生になれるよう、さらに尽力して参ります。

【出身大学】

日本大学 2012年卒業

【専門分野】

人工透析を中心として腎臓一般

【認定資格】

- 日本内科学会・認定内科医
- 日本透析医学会・透析専門医
- 日本腎臓学会・腎臓専門医
- 日本医師会・認定産業医



選択肢の拡大のために

近森病院 総合心療センター 森 学美
もり さとみ
精神科 科長

科長に就任し、これを機会に更に新しい視点で精神をみていくことができないかと考えております。学生時代精神科で研修したときに衝撃的だったことが、電気痙攣療法でした。

ここだけの話、痙攣を人工的におこさせて治療するなんて…という認識でしたが、少しずつ変化する経過をみていく精神科治療で劇的によくなる数々の症例を目の当たりにし、驚きを隠せませんでした。こんなふうに精神科治療法を選択肢はこれからもひろがっていくと思います。そのためには知識のアップデートとエビデンスに基づいた新たな発想の転換が必要になります。そのことを思うと不謹慎かもですが、わくわくしてしまいます。これからもよろしくお願いたします。



【出身大学】

高知大学 2008年卒業

【専門分野】 精神科

【認定資格】

- 精神保健指定医
- 麻酔科標榜医
- 日本救急医学会・救急科専門医

- 日本精神神経学会・精神科専門医・指導医

- 日本精神神経学会 ECTトレーニングセミナー受講修了

がんになっても自分らしく生きることを支える

近森病院 看護部長室
看護師長

島田 いづみ しまだ いづみ

4月より近森病院に入職しました。

20年ぶりに高知に帰ってきて慣れないことも多いですが、がん患者さんやご家族の抱える不安や苦痛に寄り添いながら、おひとりおひとりが自分らしく生活できるように最善の努力をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



乳がん患者さんの、その人らしく支える

近森病院 看護部
乳腺センター 看護師長

藤原 キミ ふじはら きみ

近森病院での乳腺センター開設に伴い、乳腺外科杉本医師、柳川医師と共に赴任いたしました。

乳がん患者さんが安心して治療や療養ができるよう、患者さんの生活や、患者さんらしさを大切に、多職種と協働しながらサポートしていきたいと考えています。皆様、乳腺センターをどうぞよろしくお願いたします。



看護管理は楽しい!

近森病院 化学療法センター
看護師長

矢野 千草

やの ちぐさ

この度、近森病院でステップアップする機会をいただきました。役割意識とキャリア志向の高いスタッフとともに患者さんやご家族を慮り、より質の高い看護を提供できるよう邁進して参ります。

看護管理の経験を活かし、楽しみながら一人一人が自分らしく看護ができる、魅力ある職場づくりを目指したいと思います。



焦らず、一步一步

近森病院 北館5・6階病棟
看護師長

友草 杏理

ともくさ あんり

近森病院に入職し、20年が経ちました。たくさんの人に出会い、助けられ今日までできました。

この度、このような大役をいただき、今まで以上に身の引き締まる思いでいっぱいです。

これからも周りの方々にご指導いただき、病棟スタッフと共に、患者さんやご家族により良い看護を提供できるよう、焦らず一步一步前進していきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。



対話を大切に、一歩ずつ

近森リハビリテーション病院
4階病棟 看護師長

武田 真弥

たけだ まみ

日々様々な思いを持ちながら、患者さん・ご家族は過ごされていると思います。また、患者さん・ご家族を支えているスタッフも同じであると思います。様々な思い・変化がある中で、チーム全体で退院後の地域に繋げていけるようアプローチをしています。

皆さんに寄り添いながら、今感じていることやどのようなアプローチをしていくのが良いのかを一緒に試行錯誤していけるよう対話を大切に一歩ずつ進んでいけるよう取り組んでいきます。



出会いと縁を大切に

近森病院
看護部長室 主任

小松 有希

こまつ ゆき

まさかのお声がけでしたが、これまでご指導いただいた上司の方々言葉を思い出し、主任を拝命いたしました。

私は現在、認知症看護認定看護師として組織横断的に活動しています。不思議なことに認知症分野に携わって以降再び繋がった縁がいくつかあります。

これからも人との「縁」を大切に「繋げる看護」を目標に精進していきます!



初心を忘れず、日々精進

近森病院 ICU 主任

有藤 実麻

ありとう みま

近森病院へ就職し、はや10年。これまで長きにわたり続けてこられたのは、尊敬する先輩方や頼もしい同僚、後輩の支えであったと強く感じています。

まだまだ未熟者ですが、持ち前のコミュニケーション力の高さを活かし同僚や後輩を支えられるように努力し、また患者さんにも安心・満足のいく看護を提供していきたいと思ひます。



時代の流れとともに

近森病院 6階A病棟 主任

田中 泰良

たなか たいら

「ナースコールを制するものが病棟を制する」と勤務当初に先輩にいただいた言葉です。スラムダunksのセリフをもじった言葉ですが、1年が過ぎる頃には言葉の意味がわかるようになりました。

あれから十数年が過ぎナースコールも親機からPHSに、スラムダunksは映画になりました。十数年たった私は新人看護師に同じ言葉を送るようにしています。その度に新人の頃を思い出すというシステムです。管理者として、初心を忘れず頑張ります。



訪問看護での やりがい

訪問看護ステーションちかもり
主任

山下 由香 やました ゆか

利用者さん一人一人の個性を大切に、安心して在宅生活を送れるよう支援することにとってもやりがいを感じています。今後は病棟や外来、地域との連携に積極的に取り組み、利用者さんやご家族、スタッフから信頼される存在であるよう、これからも一生懸命努めてまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。



自由な発想と 柔軟な対応

近森病院附属看護学校
事務長

中山 潤一 なかやま じゅんいち

看護学校に着任してから5年間で、オンライン授業やテキストの電子化、学校関係者による学校評価、学生の学費支援制度の拡充など環境が大きく変化いたしました。本校のコンセプトであるFreedom & Flexibilityにもとづいて、これからも自由な発想で何事にも柔軟に対応できる様に心掛けていきたいと思いません。どうぞ宜しくお願いします。



ハッスル研修医

研修医になって

こんにちは。高知歴27年目になりました、岡本大輝です。私は母校である高知大学の附属病院と救命救急に強い近森病院との違いを学び、自分がなりたい医師像をより明確にしたいと思い、たすきがけプログラムを選択しました。

今私は救急科で研修させていただいています。医師や看護師、救急救命士、そのほか様々なメディカルスタッフとのチームワークを見て、この密な連携があって高知の救命救急を支えているのだと身近で感じています。

研修医になり新しい環境となった毎日は、分からないことばかりで大変ですが、多くの先生方やメディカルスタッフなど周りの人たちに優しく支えられ、少しずつですが日々の成長を感じています。まだ働き始めて1ヶ月ですが、近森病院での1年間は医師としてのスキルだけでなく、人間性も成長できると思っています。短い間ですが、近森病院で学べることはとことん吸収していきますので、どうぞよろしくお祈りします。

初期研修医 1年目

(高知大学・近森病院たすきがけプログラム)

岡本 大輝 おかもと だいき

あなたからの「ありがとう」を伝える運動 -第2弾-

シリーズ第2回

エームサービスの皆さんへ

♥ いつもお食事を作っていただきありがとうございます。

♥ いつもお忙しい中、無理言ったことへの対応や、細かいことに気付いて連絡をくださりありがとうございます。いつも感謝しています。



● 中島さんへ (前から2列目、右から2人目の帽子を外した女性)

- ♥ 差入れやコーヒーを入れてくださるなど心遣いがとても温かいです。ありがとうございます。笑顔も素敵です。
- ♥ 何かあったとき、すぐに対応していただきありがとうございます。
- ♥ 優しい心遣いありがとう。下の人間を育ててくれて、助けてくれて。

退職

ごあいさつ

近森病院 形成外科 部長

赤松 順 あかまつ じゅん

在職 2000.4.1~2024.6.15



高知から 形成外科を発信し続けて24年

来し方

2000年3月、大阪医大形成外科の田嶋定夫前教授の人事で近森病院に赴任しました。専門分野は先天異常を含む頭蓋、顎、顔面外科領域手術でしたが、当時は外科所属でしたので消化管穿孔の緊急手術や、熱傷の手術なども行い全身管理を勉強させてもらいました。

近森病院形成外科で

教室はその後4年間教授不在で存亡の危機が続きましたが、現在の上田晃一教授が就任され、若い形成外科医を途切れることなく派遣していただきました。私も高知県形成外科医会を立ち上げ、学会発表も積極的に行い、2009年9月には第58回中国・四国支部学術



▲ ひろっば2009年10月号「第58回中国・四国支部学術集会について」

集会を高知市で開催することが出来ました。近森病院の高度急性期医療を担う若い形成外科医をこれからも育成し、皮膚、軟部組織の形成外科対応ばかりでなく、再生医療やドナーとレシピエントを考えた形成外科手術をこれからも積極的に行っていただきたいと願っています。

今年1月には心原性脳塞栓症を患い心配しましたが、最先端の脳神経外科、循環器内科の血管内治療を緊急で行っていただき完全に回復し、3月17日には会長として盛会裏に、第24回日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会を開催することが出来ました。今後は一旦倉敷に戻り、超高齢の両親のお世話をしつつ、地域での形成外科診療に携われたらと考えています。

楽しい思い出がいっぱい

写真が大好きで『縦横夢人』のよさこいカメラマンなど、高知には楽しい思い出がいっぱいあります。24年間、本当に有難うございました。



赤松先生 本当に長い間 ありがとうございました

社会医療法人近森会 相談役
近森 正幸 ちかもり まさゆき

当院の形成外科は、1984年から大阪医科大学(現 大阪医科薬科大学)当時の田嶋 定夫教授により、形成外科医も全身管理ができるように育てたいということで多くの形成外科医を派遣していただきました。

赤松順部長は2000年に、大学病院や倉敷中央病院形成外科で長年研鑽を積まれた後、43歳で7代目の形成外科部長として来ていただきました。赤松先生以前の部長は、現在の上田 晃一教授を含め2年から4年で交代しておりましたが、先生は愛嬌のある笑顔で職員からも慕われており、高知が気に入ってくださったのか24年

にもわたり形成外科の部長として活躍してくださいました。先生のご専門である頭蓋、顎、顔面領域の骨折ばかりでなく、熱傷や褥瘡、虚血による下肢の壊死、耳や指趾、漏斗胸、臍ヘルニア、尿管遺残などの先天異常はじめ、広範囲の皮膚、軟部組織の形成外科対応を行ってくれました。

さらには大阪医大の臨床教育教授として13名という多くの後輩の形成外科医を専門医まで育ててくださったばかりでなく、形成外科のご縁を通じて大阪医大からも多くの初期臨床研修医を集めてくださいました。

今年3月17日には、会長として高知市文化プラザかるぼーとにおいて日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会を成功裡に開催することができました。

6月15日退職後はお両親のお世話に便利な倉敷に戻られ、好きな写真なども撮りながら、先生のことですから楽しい人生を過ごされることと思います。長い間本当にありがとうございました。


 リレーエッセイ

ピクミンブルーム

 近森病院 リハビリテーション部
 作業療法科 作業療法士

 川村 絵梨子 かわむら えりこ


最近2歳と4歳の娘がはまっているアプリがあります。「ピクミンブルーム」という、歩くことでピクミンを増やし育てるゲームアプリです。元々は2001年に発売されたゲームですが、令和のちびっこの間でもピクミンがブームになっているようです。

このゲームには、赤・青・黄ピクミンに加えて、白・羽(ピンク)・紫・岩ピクミンが登場します。ピクミンごとに苗があり、成長するのに必要な歩数が決められています。例えば赤ピクミンなら1,000歩、岩ピクミンなら5,000歩という具合です。



私は毎日7,000歩程度歩くため、1日経てば新しいピクミンが引っこ抜けることになります。引っこ抜いたピクミンにお使いやきのこ退治に行ってもらい、ミッションをこなしていくのです。きのこ退治には他のユーザーも参加できるため、お友達の名前を見つけて「○○ちゃんおる!」と喜んでいます。

今日も私は、子どもたちのためにピクミンを増やすべく、歩数を稼いでいます。


 私の趣味

マシンピラティス

近森病院 8階A病棟 看護師

 榎尾 真衣 かしお まい


マシンピラティスにハマり、週2~3回レッスンに通っています。マシンピラティスとはリフォーマーやキャデラックなど専用マシンを使用したピラティスです。

ヨガ歴10年目ですが、マシンピラティスを始めてから短期間で筋力や柔軟性の向上、姿勢改善の効果を感じ、今ではピラティスのレッスンを受けに行く回数が圧倒的に多くなりました。パーソナルトレーニングを受けることにより、今まで気付かなかった癖や弱い部位を知ることができ、苦手部位を強化してもらい、ヨガにも生かせるようになってきました。

ピラティスもヨガもレッスンを受けた翌日は筋肉痛になりますが、筋肉痛の腸腰筋を感じて足を上げて歩こうなど意識しながら過ごしています。

インナーマッスルを鍛えるので、息子からは筋トレ好きな夫と比べられ、「ママはパパより筋肉ない!!!」と言われてしまいますが、今後も身体を鍛えてリフレッシュしていきたいと思います。


 FREE まるまる 私の○○ ○○にフリーワードを入れて語っていただきました

私の「趣味」

近森病院 ICU病棟 看護師 問可 桜子

とが さくらこ


私の趣味はアウトドアです!

同期や先輩後輩とスポーツクラブやキャンプなど季節に合わせた遊びを企画し開催しています。企画したらノリノリで参加してくれる本当に仲のいい職場です。異動した先輩方も変わらず仲良くしてくださり、恵まれた環境に感謝しています。これからも全力で楽しんでいきます!!





看護学校通信

看護学校 消防訓練 2024年4月16日

近森病院附属看護学校 事務長 中山 潤一
なかやま じゅんいち



2024年4月16日(火)に本年度 第1回目の消防訓練を行いました。参加者は学生、教職員を合わせて129名でした。

訓練は、地震発生による二次被害での火災発生を想定して、屋外階段からの避難をはじめ、水消火器を使った消火訓練を行いました。また、避難訓練後には地震発生時の身を守るための安全行動として参加者全員でシェイクアウト訓練も行いました。

今回の訓練では、入学して間もない1年生を含め、自分達がどのような行動をとって、自分の身を守るかを学びました。

学校としては、不測の事態に備えて、今秋にも訓練を予定しています。

OPEN CAMPUS

6/9 SUN 7/28 SUN 8/17 SAT
10/27 SUN 2025 3/22 SAT

詳細は [近森看護学校](#) で検索、または右のQRコードより公式ホームページをご確認ください。社会人や保護者の方の参加も大歓迎です。



近森で学ぼう。

職員募集中!



3,000とおりの
誇れる仕事

募集職種

- 医師
- 薬剤師
- 看護師
- 臨床検査技師
- 介護福祉士
- 臨床工学技士
- 救急救命士
- 診療放射線技師
- 理学療法士
- 事務
- 作業療法士
- ソーシャルワーカー
- 言語聴覚士

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



編集室通信

6月は別名「水無月」。雨がたくさん降る時季なのに「水の無い月」とは？諸説あるようだが、「水無月」は「水の月」、田植えが終わりに田に水を張る必要があることから「水無月」と呼ばれることになったという説が有力らしい。体調を崩しやすいこの時季は1年の折り返し地点、半年がんばった自分をねぎらい一息ついてみるのもいいかも…。 充

診療数

令和6年4月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

外来患者数 16,347人
 新入院患者数 1,022人
 退院患者数 1,036人

● 近森病院(急性期)

平均在院日数 11.94日
 地域医療支援病院 紹介率 ... 103.03%
 地域医療支援病院 逆紹介率 243.31%
 救急車搬入件数 520件
 うち入院件数 297件
 手術件数 549件
 うち手術室実施 354件
 うち全身麻酔件数 265件

歳時記

とある、ひろっぱ委員の
写真日記 ~GW~

- 4/28 新緑の美しいモネの庭で

- 4/27 香我美町山北の農園で爛漫の藤を



近森病院

献血

キャンペーン

6/25(火) 400ml 限定
12:30~17:15

場所 / 近森病院 総合受付 玄関前駐車場



今城 有加里

Yukari Imajyo

近森病院 理学療法科 理学療法士

聞き手／ひろっぱ編集部

目の前の 患者さんのために 破顔一笑



2023年度近森会グループMVPの個人部門(患者アンケートの上位者)で受賞した今城理学療法士(PT)。アンケートには、「おかげで笑って過ごせた」という患者さんからのコメントも。マスク越しから伝わる満面の笑みに、相手も自然と顔がほころぶのだろう。

座右の銘は「笑う門には福来る」。「入職してすぐに患者さんから『笑顔がいいね』と褒められたんです。ならばここは伸ばそうと」。以降、仕事中は笑顔を絶やさないように心がけているという。

家族みんな おんなじニコニコ顔

出身は宿毛市。海というより山間側の地域で育ち、秘密基地を作ったり、裏山で探検したりという活発な子どもだった。三姉妹の末っ子、2人の姉も面倒見がよく家族みんなから可愛がられ、両親のケンカも見ることがないという。

「うちの家族はみんな丸顔で、笑うと目が細くなるんですよ。“笑っていればなんとかなる”という家で育ちましたね」と話す時の目はもちろん細い。さらに「これは95歳のじいちゃん！」と同じ笑顔の2人が並ぶ写真も見せてくれた。仲の良さや家族を大切に思う気持ちがよく伝わってきた。



週末は動物にどっぷり癒されに行く

コロナ禍以前は、近森のよさこいのインス

トラクターをし、年間を通じてよさこいイベントに参加していた。しかし、コロナ禍で休日の過ごし方は様変わりし、桂浜水族館や、のいち動物公園に通うという新たな楽しみを見つけた。

桂浜水族館には、1~2週に1度という高頻度で通っており、職員にも「お疲れ様」と声をかけられるほどだとか。「見ているだけで癒されますね。ゴールデンウィークや節分など色々イベントを行っているので、生き物とふれあえる機会には積極的に参加しています。昨年の夏はアシカの飼育員体験のイベントにも参加して、プールと一緒にもぐったりゲームをしたり、良い思い出になりましたね」。



一方、のいち動物公園にも月に1度ほど通い、餌代を支援する動物サポーターにもなっている。「だいたい園を1周回って、その日気になる子のところへ戻ります。あそこはかなり歩くので、良い運動になりますね。1日でのいち、桂浜とハシゴすることもあります」。はまり具合が、よ〜く伝わった。

あっという間の12年間、 まだまだ勉強中

明るくポジティブな今城さんにも挫折感を味わった過去がある。専門学校時代に見学した病院のリハビリが、理想とは異なって見えたことで、思い悩み立ち止まってしまっ

たのだ。しかし、恩師の言葉や家族と話し合いの時間を作ったことで、もう一度歩みだすことができたという。

「今となっては、この経験のおかげで両親とも腹を割って話せたし、人生を真剣に考える時間が持てたので良かった」と振り返る。

就職では、当初、地元宿毛の病院で働く予定もあったが、恩師から「最初は大きな病院で揉まれた方が良い。宿毛に帰るのは近森病院で学んでからでも遅くない」と言われ今に至る。「本当は、5年をメドに帰ろうと思っていたのですが、すでに12年。まだまだ勉強は続いています」と笑う。

患者さんを自分の家族と思って接したい

12年目を迎えて、キャリアアップを目指す時期に来ている。

「10年目を過ぎて後輩育成や実習生を持たせてもらって働き方の意識も変わりました。専門的なプラスαの資格も取得する段階と分かっているのですが、受け持ちの患者さん以外の勉強に身が入らなくて悩んでいます。でも、目の前の患者さんには120%の力を注ぎたい」ときっぱり。この思いは、専門学校卒業時の恩師からの「患者さんは自分の家族と思って治療しいよ」という言葉が根底にある。

「距離感は気を付けるべきですが、その思いで対応していれば間違えることはない。理想のPT像は、この思いかもしれない」と。家族思いの今城さんならではの思考のものさしである。これからも特上の今城スマイルで、近森の病棟を明るく照らしてくれるはずだ。

